

独立行政法人国立高等専門学校機構施設における吹き付け
アスベスト等の使用実態調査等の結果について

I. 調査趣旨

学校を使用する学生・教職員等の安全対策に万全を期すため、独立行政法人国立高等専門学校機構施設における吹き付けアスベスト等の対策状況を把握し、速やかに対策を講じることを目的とする。

本調査は、「学校施設における石綿障害予防規則第 3 条第 2 項の規定による石綿等の使用の有無の分析調査の徹底等について」（平成 20 年 2 月 15 日付け 19 文科施第 419 号）（以下「文部科学省通知」という。）に基づき、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト（以下「トレモライト等」という。）の 3 種類のアスベストの分析が新たに必要かどうかを調査するもの。

II. 調査対象施設

独立行政法人国立高等専門学校機構の 5 5 校の国立高等専門学校を対象とした。

III. 調査結果（平成 20 年 3 月 31 日現在）

調査対象国立高専	5 5 高専
トレモライト等の分析調査が必要となった国立高専	5 高専

※上記の調査の後、3 高専については分析調査が完了し、トレモライト等の含有は認められなかった。また、残りの 2 高専については現在分析調査中である。

※上記調査時点において、すでに分析調査を行っている高専は、計上していない。

IV. 調査結果を踏まえた独立行政法人国立高等専門学校機構の今後の対応方策

1. 今後の吹き付けアスベスト等の対策

- ・文部科学省通知に基づき再度分析調査を行った結果、以下の高等専門学校において新たに吹き付けアスベストが発見された。
 - 福島工業高等専門学校 対象面積：337 m²（40 部屋）、夏休み中に撤去工事予定
 - 奈良工業高等専門学校 対象面積：636 m²（13 部屋+通路）、夏休み中に撤去工事予定
 - 舞鶴工業高等専門学校 対象面積：122 m²（2 部屋）、撤去完了
 - 大島商船高等専門学校 対象面積：156 m²（3 部屋+通路）、夏休み中に撤去工事予定
 - 津山工業高等専門学校 対象面積：80 m²（1 部屋）、夏休み中に撤去工事予定
 - 福井工業高等専門学校 対象面積：6.7 m²（10 部屋）、撤去完了
- ・本調査において分析調査が必要とされたもの（平成 20 年 7 月 18 日現在においては分析調査中のもの）について、アスベストが検出されれば速やかに対策工事を行っていく。

(問い合わせ先)

独立行政法人国立高等専門学校機構
本部事務局施設課長 真野 善雄
電話 042-662-3147

国立高等専門学校施設におけるトレモライト等への対応状況調査

種 別	(1)全機関数	(2)分析調査を実施し、そのうちアスベスト含有なしと判定された箇所があった機関						
		(3)分析方法				(4)X線回折		
		(A)JIS A 1481 (6種類)	(B)基発第188号, 基安化発第0622001号, JIS A 1481(クリソタイル等のみ)等	(C)X線回折でピークあり		(a)吹き付けアスベスト等として措置を行うもの	(b)トレモライト等の分析を行うもの ※	(D)X線回折でピークなし ※
国立高等専門学校	55	44	39	5			5	
今後の対応			改めて分析調査を行う必要はない		アスベスト含有建材として必要な措置を講じることから、改めて分析調査を行う必要はない	JIS法による分析調査が必要		

○国立高等専門学校において、1学校を1機関として記入している。

○各欄の機関数は次のとおりとなることに注意する。

(2) = (A) + (B)

(B) = (C) + (D)

(C) = (a) + (b)